



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日
福

上場会社名 株式会社Misumi 上場取引所
 コード番号 7441 URL http://kk-misumi.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡 恒憲
 問合せ先責任者 (役職名) サポート本部長 (氏名) 末吉 茂樹 (TEL) 099-260-2213
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 平成26年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績 (平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	30,822	△0.6	181	△3.1	311	3.0	184	4.7
26年3月期第2四半期	30,997	9.8	187	△55.7	302	△51.9	176	△55.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 370百万円(14.5%) 26年3月期第2四半期 323百万円(0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	30.46	—
26年3月期第2四半期	29.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第2四半期	34,832	14,572	41.3
26年3月期	35,058	13,967	39.3

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 14,381百万円 26年3月期 13,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,533	△1.6	903	5.2	1,167	△5.7	610	16.1	100.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 - 社(社名) 、除外 - 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	6,100,503株	26年3月期	6,100,503株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	30,669株	26年3月期	30,669株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	6,069,834株	26年3月期2Q	6,069,834株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策等を背景に、景気は緩やかな回復基調にありましたが、消費税率の引上げに伴う駆け込み需要の反動等の影響により、個人消費の回復に足踏み感が見られました。また、当社グループの営業基盤である南九州においても、夏場の天候不順の影響に加え、消費税率の引上げによる節約意識の高まりから、消費マインドの低下が見られるなど、経営環境としては厳しい状況にありました。

このような状況の中で当社グループは、主力のエネルギー事業において、販売力の強化を図るとともに、その他事業においては、不振部門の立直しや接客・サービス力の強化を図りました。また、M i s u m i グループ夏の総力祭を開催し、各事業におけるお得な情報や特典等を掲載した「クーポン付BOOK」を配布するなど、新規顧客の獲得と他事業店舗への相互送客を図り、事業全体における収益性の向上に努めました。さらに、将来に向けて地域社会への貢献と収益基盤の強化を目的として、環境にやさしいクリーンエネルギーである小水力発電事業への取り組みを新たに開始いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は308億22百万円（前年同四半期比0.6%減）、経常利益は3億11百万円（前年同四半期比3.0%増）、四半期純利益は1億84百万円（前年同四半期比4.7%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

1 エネルギー

「エネルギー」セグメントにつきましては、石油部門において、SSではENEOSカードやTカードの新規発券を増やし、イベント等による利用促進を図るなど、燃料油の増販に努めました。また、安定した収益を獲得するために、積極的な提案活動による油外商品の拡販に取り組みました。

ガス部門においては、原材料費調整制度の期間を見直し、タイムリーな価格提示を行うことで、収益の改善を図るとともに、ガス関連商品の購入者への「Tポイント付与」の認知度を上げることで、新規顧客の開拓に努めました。

以上の結果、売上高は245億78百万円（前年同四半期比0.8%増）、営業利益は1億17百万円（前年同四半期比50.4%減）となりました。

2 ライフスタイル

「ライフスタイル」セグメントにつきましては、カルチャー部門において、季節のおすすめ商品や話題商品などの特集コーナーをいち早く設置し、顧客ニーズに対応するとともに、シニア向けの販促キャンペーンの実施やインパクトのあるクーポンを配布し、新規顧客の獲得を図るなど、集客力の向上に努めました。また、オプシアミスミでは、施設一体となったイベントを開催するなど、来店促進活動の強化を図りました。

自動車部門においては、新型車の増販を図るとともに、タイヤ販売における新規取引先の開拓と売れ筋商品の販売に注力し、収益確保に努めました。

ホームライフ部門においては、新しいCM等による新築やリフォームの認知度向上を図るとともに、地震に強く、省エネ・創エネ設備を取り入れたスマートハウスの構造見学会や完成見学会を定期的実施するなど、新しい暮らしの提案による受注獲得に努めました。

以上の結果、売上高は36億63百万円（前年同四半期比8.8%減）、営業利益は1億18百万円（前年同四半期比25.3%減）となりました。

3 フード&ビバレッジ

「フード&ビバレッジ」セグメントにつきましては、外食部門において、メニュー構成の見直しや品質管理とホスピタリティの強化を図るなど、お客様満足度の向上に努めるとともに、クーポンの配布や期間限定商品の販売等による新規顧客の開拓と来店頻度のアップに努めました。

ミネラルウォーター部門においては、新規取引先の獲得や配送コストの圧縮に努めるとともに、宅配キャンペーン等による定期購入件数の拡大を図りました。また「高牧の森の水」を使用したプレミアム焼酎「三寿美（ミスミ）」の販売を大都市圏の限定した飲食店にて開始し、水ブランドの向上を図っております。

以上の結果、売上高は25億80百万円（前年同四半期比1.1%減）、営業利益は2億0百万円（前年同四半期比108.0%増）となりました。

（上記金額には、消費税等は含まれておりません。）

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて2億26百万円減少し、348億32百万円となりました。これは主に、現金及び預金や投資有価証券、退職給付に係る資産（固定資産の投資その他の資産「その他」）が増加した一方、受取手形及び売掛金が減少したこと等によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて8億31百万円減少し、202億60百万円となりました。これは主に、借入金が増加した一方、支払手形及び買掛金や未払法人税等が減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べて6億4百万円増加し、145億72百万円となりました。これは主に、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を期首利益剰余金に加減したこと等により、利益剰余金が増加したことと、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、仕入債務の減少9億1百万円、法人税等の支払い3億34百万円及び固定資産の取得2億17百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少17億0百万円、減価償却費3億37百万円及び税金等調整前四半期純利益3億17百万円等の資金の増加により、前連結会計年度末に比べ8億35百万円増加し、当第2四半期連結累計期間末は40億68百万円（前年同四半期末比25.8%増）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加額は、8億31百万円（前年同四半期比15.1%減）となりました。これは主に、仕入債務の減少9億1百万円及び法人税等の支払い3億34百万円等の資金の減少がありましたが、売上債権の減少17億0百万円、減価償却費3億37百万円及び税金等調整前四半期純利益3億17百万円等の資金の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少額は、1億89百万円（前年同四半期比56.3%減）となりました。これは主に、固定資産の取得2億17百万円等の資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の増加額は、1億92百万円となりました。これは主に、配当金の支払い90百万円があったものの、借入金の増加2億90百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期の業績予想につきましては、平成26年5月9日に公表いたしました業績予想から修正しております。詳細につきましては、平成26年11月7日公表の「平成27年3月期第2四半期累計期間の業績予想と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

記載すべき事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間から適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から退職給付の支払見込期間ごとに設定された複数の割引率を使用する方法へ変更いたしました。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産(固定資産の投資その他の資産「その他」)が505,546千円増加し、利益剰余金が322,428千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はそれぞれ軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,921,904	4,733,995
受取手形及び売掛金	6,621,040	4,956,475
商品及び製品	2,835,828	2,971,887
仕掛品	35,181	80,802
原材料及び貯蔵品	46,992	43,262
その他	589,381	521,536
貸倒引当金	△344,992	△328,277
流動資産合計	13,705,338	12,979,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,913,699	3,776,638
土地	12,315,596	12,348,185
その他(純額)	1,023,561	1,003,562
有形固定資産合計	17,252,857	17,128,386
無形固定資産	325,468	285,777
投資その他の資産		
その他	3,902,472	4,565,628
貸倒引当金	△127,508	△127,082
投資その他の資産合計	3,774,963	4,438,545
固定資産合計	21,353,289	21,852,709
資産合計	35,058,628	34,832,391
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,999,140	2,097,870
短期借入金	6,880,000	6,440,000
1年内返済予定の長期借入金	1,799,910	2,033,140
未払法人税等	346,679	77,453
賞与引当金	332,320	303,845
その他	1,482,295	1,390,880
流動負債合計	13,840,345	12,343,189
固定負債		
長期借入金	5,428,435	5,925,280
役員退職慰労引当金	756,500	763,500
退職給付に係る負債	150,539	—
その他	915,307	1,228,049
固定負債合計	7,250,781	7,916,830
負債合計	21,091,127	20,260,019

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,690,899	1,690,899
資本剰余金	1,646,341	1,646,341
利益剰余金	9,993,272	10,409,516
自己株式	△43,403	△43,403
株主資本合計	13,287,109	13,703,353
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	525,777	716,834
退職給付に係る調整累計額	△31,599	△38,924
その他の包括利益累計額合計	494,177	677,910
少数株主持分	186,213	191,107
純資産合計	13,967,501	14,572,371
負債純資産合計	35,058,628	34,832,391

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	30,997,591	30,822,080
売上原価	25,442,304	25,438,325
売上総利益	5,555,287	5,383,754
販売費及び一般管理費	5,368,130	5,202,382
営業利益	187,157	181,372
営業外収益		
受取利息	2,349	2,418
受取配当金	20,611	22,210
受取賃貸料	73,440	72,977
その他	136,970	138,735
営業外収益合計	233,372	236,342
営業外費用		
支払利息	70,531	64,890
賃貸費用	28,971	31,415
その他	18,720	10,137
営業外費用合計	118,224	106,442
経常利益	302,305	311,272
特別利益		
固定資産売却益	2,358	6,661
特別利益合計	2,358	6,661
税金等調整前四半期純利益	304,664	317,933
法人税、住民税及び事業税	108,280	68,877
法人税等調整額	18,022	63,370
法人税等合計	126,302	132,248
少数株主損益調整前四半期純利益	178,362	185,684
少数株主利益	1,807	821
四半期純利益	176,555	184,863

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	178,362	185,684
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	145,235	191,057
退職給付に係る調整額	—	△6,227
その他の包括利益合計	145,235	184,829
四半期包括利益	323,597	370,514
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	321,790	368,596
少数株主に係る四半期包括利益	1,807	1,918

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	(単位：千円)	
	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	304,664	317,933
減価償却費	329,816	337,571
固定資産除却損	9,175	1,188
のれん償却額	42,591	40,546
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	23,222	△17,140
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,670	△28,475
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△30,983	—
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	6,600	7,000
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△55,413
受取利息及び受取配当金	△22,961	△24,629
支払利息	70,531	64,890
為替差損益 (△は益)	△0	△47
固定資産売却損益 (△は益)	△2,358	△6,661
受取保険金	△436	△824
売上債権の増減額 (△は増加)	1,271,607	1,700,070
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△39,652	△177,948
仕入債務の増減額 (△は減少)	△230,927	△901,222
その他	△468,050	△49,671
小計	1,259,169	1,207,164
利息及び配当金の受取額	21,404	23,161
利息の支払額	△75,651	△64,736
保険金の受取額	436	824
法人税等の支払額	△225,132	△334,658
営業活動によるキャッシュ・フロー	980,226	831,755
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,773	△300
定期預金の払戻による収入	10,170	23,565
有価証券の償還による収入	2,759	—
固定資産の取得による支出	△443,569	△217,064
固定資産の売却による収入	5,600	8,466
投資有価証券の取得による支出	△13,514	△12,456
子会社株式の取得による支出	△270	—
差入保証金の差入による支出	△15,282	△431
差入保証金の回収による収入	23,952	10,466
貸付けによる支出	—	△1,300
貸付金の回収による収入	12,070	4,610
その他	△3,982	△4,610
投資活動によるキャッシュ・フロー	△432,838	△189,053

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	500,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△750,000	△740,000
リース債務の返済による支出	△8,962	△3,300
長期借入れによる収入	1,200,000	1,800,000
長期借入金の返済による支出	△1,013,341	△1,069,925
配当金の支払額	△91,221	△90,875
少数株主への配当金の支払額	△3,245	△3,245
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166,769	192,654
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	380,617	835,356
現金及び現金同等物の期首残高	2,853,198	3,233,113
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,233,815	4,068,469

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,371,011	4,016,060	2,610,519	30,997,591	—	30,997,591
セグメント間の内部 売上高又は振替高	54,425	62,290	15,849	132,566	△132,566	—
計	24,425,436	4,078,351	2,626,369	31,130,158	△132,566	30,997,591
セグメント利益	236,683	158,068	96,441	491,192	△304,035	187,157

(注) 1 セグメント利益の調整額△304,035千円には、セグメント間取引消去5,500千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△309,536千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	エネルギー	ライフ スタイル	フード& ビバレッジ	計		
売上高						
外部顧客への売上高	24,578,053	3,663,183	2,580,843	30,822,080	—	30,822,080
セグメント間の内部 売上高又は振替高	16,386	31,391	15,177	62,956	△62,956	—
計	24,594,440	3,694,574	2,596,021	30,885,036	△62,956	30,822,080
セグメント利益	117,381	118,090	200,612	436,084	△254,712	181,372

(注) 1 セグメント利益の調整額△254,712千円には、セグメント間取引消去4,718千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△259,430千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。